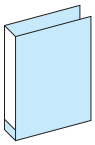
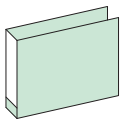
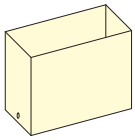
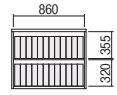
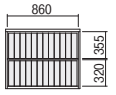
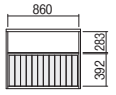
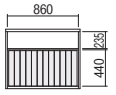
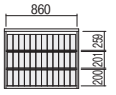
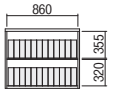
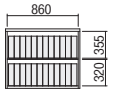
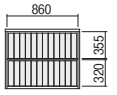
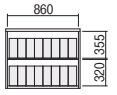
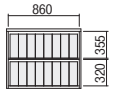
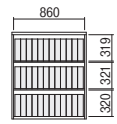
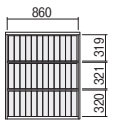
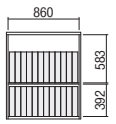
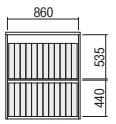
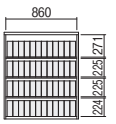
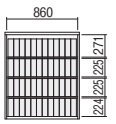
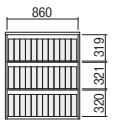
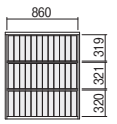
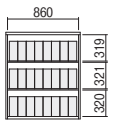
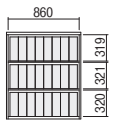
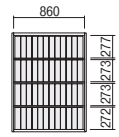
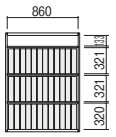
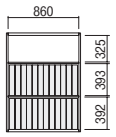
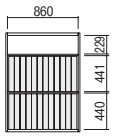
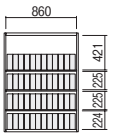
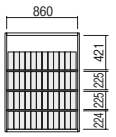
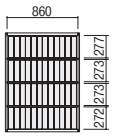
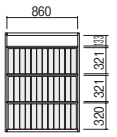
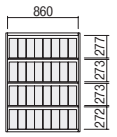
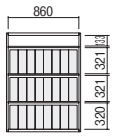
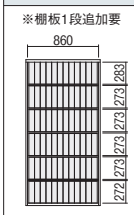
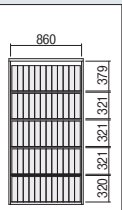
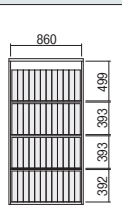
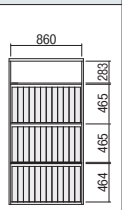
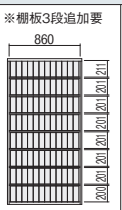
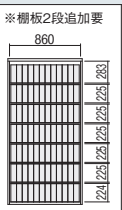
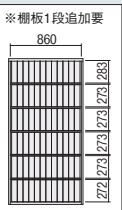
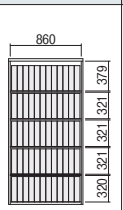
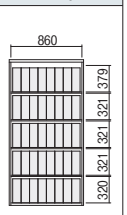
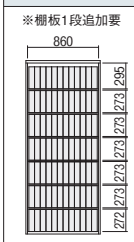
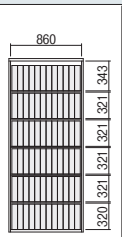
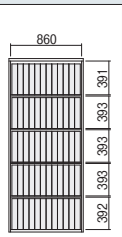
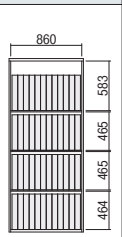
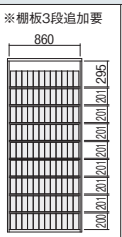
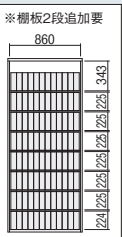
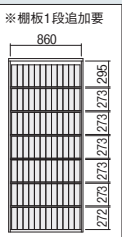
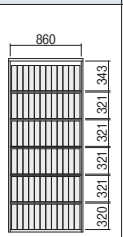
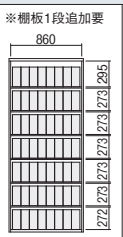
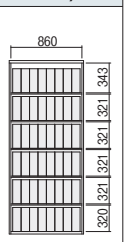
■RW・RGタイプ　収納パターン

〈RW4／奥行400㎜、RW45・RG45／奥行450㎜、RW5／奥行500㎜〉

縦型ファイル				横型ファイル				横型ボックスファイル	
B5	A4	B4	A3	B5	A4	B4 (注)	A3 (注)	A4ミニ	B4
W69	W69	W69	W69	W69	W69	W69	W69	W102	W102
H267	H307	H374	H430	H192	H220	H267	H307	H240	H292
D214	D242	D289	D329	D288	D328	D395	D448	D316	D385
H750（W900）				H750（W900）				H750（W900）	
				※棚板１段追加要 					
12ケ×2段=24ケ	12ケ×2段=24ケ	12ケ×1段=12ケ	12ケ×1段=12ケ	12ケ×3段=36ケ	12ケ×2段=24ケ	12ケ×2段=24ケ	12ケ×2段=24ケ	8ケ×2段=16ケ	8ケ×2段=16ケ
H1050（W900）				H1050（W900）				H1050（W900）	
				※棚板1段追加要 	※棚板1段追加要 				
12ケ×3段=36ケ	12ケ×3段=36ケ	12ケ×2段=24ケ	12ケ×2段=24ケ	12ケ×4段=48ケ	12ケ×4段=48ケ	12ケ×3段=36ケ	12ケ×3段=36ケ	8ケ×3段=24ケ	8ケ×3段=24ケ
H1200（W900）				H1200（W900）				H1200（W900）	
									
12ケ×4段=48ケ	12ケ×3段=36ケ	12ケ×2段=24ケ	12ケ×2段=24ケ	12ケ×4段=48ケ	12ケ×4段=48ケ	12ケ×4段=48ケ	12ケ×3段=36ケ	8ケ×4段=32ケ	8ケ×3段=24ケ
H1800（W900）				H1800（W900）				H1800（W900）	
※棚板1段追加要 				※棚板3段追加要 	※棚板2段追加要 	※棚板1段追加要 		※棚板1段追加要	
12ケ×6段=72ケ	12ケ×5段=60ケ	12ケ×4段=48ケ	12ケ×3段=36ケ	12ケ×8段=96ケ	12ケ×7段=84ケ	12ケ×6段=72ケ	12ケ×5段=60ケ	8ケ×6段=48ケ	8ケ×5段=40ケ
H2100（W900）				H2100（W900）				H2100（W900）	
※棚板1段追加要 				※棚板3段追加要 	※棚板2段追加要 	※棚板1段追加要 		※棚板1段追加要 	
12ケ×7段=84ケ	12ケ×6段=72ケ	12ケ×5段=60ケ	12ケ×4段=48ケ	12ケ×9段=108ケ	12ケ×8段=96ケ	12ケ×7段=84ケ	12ケ×6段=72ケ	8ケ×7段=56ケ	8ケ×6段=48ケ
・１段当たりW600では4ケ、W450では6ケ少なくなります。				・１段当たりW600では4ケ、W450では6ケ少なくなります。				・１段当たりW600では3ケ、W450では4ケ少なくなります。	

ファイルはメーカーにより多少サイズが異なります。お使いになる収納庫の奥行き内寸をご確認の上、ご使用ください。（種類によっては収納できない場合があります）
(注)B4・A3 横型ファイルを収納する場合は、書庫の奥行内寸にご注意ください。
(注)A3 横型ファイルは RW5 の開き書庫／オープン書庫と RW45・RG45 のオープン書庫のみ対応します。

usability（ユーザビリティ）

⑧

⑨

⑧扉の開きは180°タイプ
180°開きタイプの丁番を採用。狭い通路でも扉がジャマになりません。また樹脂パーツを採用することにより滑らかな開閉が行えます。

⑨開口部が広い3枚扉
3枚引戸タイプは2枚引戸タイプに比べ開口部が広くなり、中央部の収納物の出し入れがしやすい構造です。

⑩

⑪

⑩細かい棚板ピッチと薄型棚板
棚板ピッチは24㎜で収納物に合わせて上下調節ができます。15㎜の棚板と相まってスペースを有効に使えるよう設計。また、棚板と側板の隙間から収納物が落ちない設計になっています。

⑪開き扉にキーフックを採用
開き扉の内側にキーフックを装備。鍵の紛失が少なくなり、頻繁に施錠しやすくなります。